

そう・きりん組便り

《担任》
松崎里香（文責）
楠原義之、松元千春

ルールのある集団遊び

～みんなで遊ぶ楽しさ！ルールのある遊びの楽しさ！～

朝の会で何をして遊ぶ？と子ども達に尋ねると、「けいどろしたい！」「開戦ドンしよう？」「島鬼がいい！」という声が目立つようになってきました！

しかし！初めのころは、...

遊びに参加しているのは、昨年、年中さんの頃にルールのある集団遊びを沢山して楽しさや遊び方を知っているきりん組さんが大半で、そう組さんは1人か2人しか参加する子はいませんでした。

参加したそう組さんの気持ち

- ・楽しい～♪
- ・またしようね♪
- ・じゃんけんして負けたら逃げたよだね！
(開戦ドンのやり方を振り返る)等

参加していなかったそう組さんの気持ち

- ・だって、やり方かんないもん！
- ・おもしろくないもん！
- ・できないもん
- ・つかれる！

そこで！楽しそうに遊んでいたそう組さんに、朝の会でルールのある集団遊びをしてどのよう感じているのか？また、ルールをみんなに紹介する機会を設けました！

すると、その子達がいきいき心の底から楽しいことをジェスチャーを交えながら教えてくれたので、また、参加したことなかったそう組さんも「やってみたい！」と思うきっかけとなり、その日からけいどろや開戦ドン、島鬼の遊びをそう組ときりん組と一緒に楽しむようになりました★★！



～ルールのある遊びで培う集中力と社会性の育ち～

年長児に育てたい力は何でしょうか？「集団活動でもまれ、自律していく力」です。自分たちの好きな活動を楽しめる生活は最も重要なことだと思いますが、それだけでいいのですか？と考え、友達同士、クラスのみならず、自分たちの生活に必要な目標（目当て）を見出し、それに向かって集中力を養いながら葛藤したり、失敗しながらも友だちと支え合い最後までやり通す、成就感や達成感を味わう生活があるかどうかです。(遊びこそ豊かな学び 引用)



《 役交代 》
「社会参加への意欲や基盤」というのは、幼児期の役割交替のようなあそびからめばえていく」

《 じゃんけん 》

- ・機敏性、多様性、思考力が求められます。
- ・勝つとうれしい、負けて悔しいなどの感情が湧く。



遊びを発展させるには自分の主張を通そうとするだけではだめで、仲間と行動の結果を予測して行動の選択や吟味をするなどの集団思考も必要になります。

作戦を練り、合言葉を決めるなど集団としての組織を固め、遊びの創造性を高めていきます。こうした作戦力が、生活の中の葛藤や困った事態の解決力に繋がっていくことは言うまでもありません



仲間と一緒に夢中になって、ワクワクしながら楽しく遊んでいく中で、楽しさを分かち合う経験をする、そこそが子ども達の人間形成の基盤になっていくのではないのでしょうか。

(引用 遊びこそ豊かな学び 今井和子)

↑を読んで、
今、夢中になり遊んでいる中で成長や発達しているところ、考えたり試したり、協力する姿などを日々感じています。さらに、これから生きていく力を遊びの中でつけているということになるということなので、大人になっていく子ども達の未来が楽しみになってきました★！



♡...♡... ♡...♡... ♡...♡... ♡...♡... ♡...♡... ♡...♡... ♡...♡... ♡...♡...

あらか そうま くん (11月26日生まれ)

開戦ドンでは「そうまは、足が速いからいつも助けてくれる！」と仲間もいうくらい、足も速く、仲間の為に助けてあげたい！という気持ちがあります。また、そうまくんの中で、助けることも楽しみや喜びになります★(6さい)



みんなで頑張っていること！

登園する時に、保護者の方がカバンを持ってきてくれ、洋服を整理して下さることが多くありました。しかし、きりん組のだいちゃんが自分でカバンを持ち、洋服の整理をする日が増え、その姿をひつじ組さんとぞう組、きりん組に紹介すると「明日からやる！」とひつじ組さんまで意欲を持ちみんなで頑張ってみよう！という話になりました！！そして、今では、「自分でするから」とお母さん方の手伝いを断り自分でやる姿も出てきています。また、「自分でカバン持ってきた！」「洋服準備出来たよ！」と自分で出来た喜びを感じてきています。身のまわりの整理を自分でしていく中で、物を大切にすること、整理整頓する力、数を数えること、考える力に繋がっていくと思います。

年長さんは自分で最後までやりきる力がついてきています！
子ども達の手伝いで出来るように見守ってあげましょう！



年中さんは、一緒に確認をしながら「自分で出来た！」という成功体験を増やしていきたいでしょう！

交流が続いています！

第二の年長さんと約3カ月一緒に生活を共にしてきました。その中でお互いに切磋琢磨したり、楽しく遊んだりと関係が深まり友達関係も広がりました。そこで、それぞれの園で年中さんに力を分けてあげたり、もっと大きくなれるように頑張ろうね！と第二の年長さんは帰ることになりました。しかし、「せっかく仲良くなったのに寂しい」という声もあがり、ポストを作り手紙でやりとりをしよう！と決まり子ども達が家のポストを調べ、どんなものを作るのかアイデアを出し合い、協力してポストを作りました。



ぞうぐみも、お手紙を出し、栗ご飯を作って食べさせてあげました！

